日本工業経済新聞社 水戸支局 開設70周年を迎えました

読者と歩んで70年 建設業の未来を拓く

日本工業経済新聞社水戸支局は本年、1954年（昭和29年）の開設より70周年を迎えました。創刊より日本工業経済新聞（茨城版）を発行し続け、本年10月29日付で通算1万4400号となりました。共に歩んでくださった読者の皆さま、関係各位に深く感謝申し上げます。

日本工業経済新聞社は建設産業界の報道機関として、戦後の混乱期から、昭和の高度成長時代、バブル時代を経て、平成、令和の今日まで、県内の公共事業の発注情報を中心に、国、県、市町村の動向、建設産業界の動きを報道。地域に密着しながら、発注者と受注者を結ぶ「架け橋」の役割を果たしてきました。

今後も、地域、そして建設産業界に欠かせない専門紙として、「建設業の未来を拓く」役割を果たし続けてまいります。そして、開設100周年を目指し、建設産業界のオピニオンリーダーとの認識を新たにして、歩んでまいります。

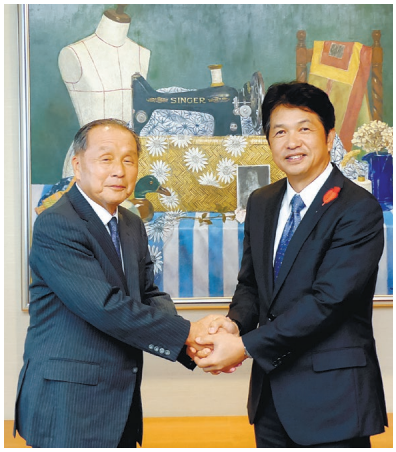
5～8面 特集

日本工業経済新聞社水戸支局は開設以来、水戸市に事務所を構え、国や県、市町村、関係団体、民間企業などの建設関係情報を発信しています。

【編集綱領】公器としての使命を深く認識し、正確、公正、迅速な報道、評論によって建設業及び関連業界などの発展向上に寄与する。

【読者層】建設会社、設計事務所、電設資材、建設機械、電気通信メーカー、環境整備業、建設関連団体、官公庁など

【商品紹介】
- 建設新聞「日本工業経済新聞（茨城版）」、新聞電子版
- 入札ネット、入札ネット＋α
- 建設メール
- 茨城県建設名鑑
- 茨城県建設事業計画書



水戸支局開局70周年記念 対談

大井川　和　彦（茨城県知事）

石　津　健　光（全国建産連会長 茨城県建設業協会会長）

6面～7面

私たちは、これからも「新しい茨城づくり」にチャレンジしていきます。

茨城県型枠事業協同組合

理事長　斉　藤　正　弘
外 会員一同

茨城県水戸市千波町1721－6 フォーライフ北藤山103
電　話　029－305－3383　ＦＡＸ　029－305－3384

茨城県アスファルト合材協会

会　長　石　津　健　光
副会長　皆　川　容　徳
副会長　平　本　貞　二
外会員一同

水戸市城南３－３－２６
電　話　029(225)6244
ＦＡＸ　029(231)6450
ＵＲＬ　http://www.ibaraki-as.jp

一般社団法人 茨城県建設業協会 舗装部会

部会長　秋山光伯
副部会長　関　和郎
理　事　鈴木一良
〃　酒井幸一
〃　高野　裕
〃　小松原　仁
理　事　石津正美
〃　柳橋一明
〃　大貫茂男
監　事　伊東久夫
〃　大橋一博
外会員一同

〒310－0062
茨城県水戸市大町３丁目１番22号
TEL＆FAX　029－226－0175

地域の安全・安心を守る
一般社団法人 茨城県建設業協会

会　長　石津健光
副会長　細谷武史
副会長　秋山光伯
副会長　大藤博文
副会長　小林伸行
副会長　新井　孝
副会長　田口恵一郎
他会員一同

事務局　水戸市大町３－１－２２
TEL０２９（２２１）５１２６㈹
FAX０２９（２２５）１１５８
http://www.ibaken.or.jp

茨城県行政書士会
茨城県行政書士政治連盟

会長・古川　正美
役員・会員一同

水戸市笠原町978-25（茨城県開発公社ビル5階）
TEL 029-305-3731　FAX 029-305-3732
URL https://ibaraki-gyosei.or.jp

Since1951
一般社団法人 茨城県建築士会

会　長　柴　和伸
副会長　武村　実
副会長　高槻一雄
副会長　相澤晴夫
外役職員・会員一同

携帯サイト

茨城県建設産業団体連合会

会　長　石津健光
（㈳茨城県建設業協会会長）
外 会員一同

水戸市大町３－１－２２　電話　029(221)5126㈹

一般社団法人
茨城県建設コンサルタンツ協会

会　長　橋本義隆
副会長　武藤秀樹
副会長　吉原清寿
副会長　吉川善啓
外会員31社一同

事務局　茨城県水戸市桜川２-２-35 茨城県産業会館11階
ＴＥＬ 029-291-3517　ＦＡＸ 029-291-3567
https://www.ibakenkon.jp　E-mail:info@ibakenkon.jp

日本工業経済新聞社 水戸支局 開設70周年

県内トップ対談

日本一幸せな県へ「チャレンジ」

茨城県 大井川　和彦 知事

活力ある県づくり

茨城県では、大井川和彦知事のリーダーシップのもと、2022年度からの新総合計画に基づき、「活力があり、県民が日本一幸せな県の実現」を目指し、取り組みが進んでいる。一方で、活力がある県土づくりには、インフラの維持管理や整備を担い、災害時にはすぐに対応する「地域の守り手」である地域建設産業の果たす役割は大きい。そこで日本工業経済新聞社では、水戸支局開設70周年記念事業として、大井川知事と、茨城県建設業協会会長で全国建設産業団体連合会会長でもある石津健光氏に、「新しい茨城づくり」「災害・危機に強い県土づくり」「地域建設業の役割」などについて語り合っていただいた。

おおいがわ・かずひこ　1964年生まれ。土浦市出身。1988年通商産業省（現経済産業省）入省、マイクロソフトアジア（執行役員）、シスコシステムズ合同会社専務執行役員、㈱ドワンゴ（ニコニコ動画運営会社）取締役を経て、2017年9月茨城県知事就任。現在2期目。

―大井川知事は就任以来、多くの場面で「チャレンジ」を訴え、活力ある本県づくりをリードされてきました。就任からの県政運営の総括と、今後の県政運営への意欲やチャレンジについてお聞かせください。

大井川　私は、知事就任以来、人口減少時代への対応を最も重要な課題と捉え、本県経済の活性化をはじめとした様々な施策に、全力で取り組んでまいりました。

その結果、今月発表された2021年度の県民経済計算の推計結果では、本県の経済成長率は国を大幅に上回り、1人当たりの県民所得は過去最高となる全国第3位となりました。また、県外企業立地件数は7年連続で全国第1位、農産物の輸出額も就任前の13倍に拡大するとともに、中高一貫教育校の開設をはじめ、魅力と特色ある教育環境づくりが進展しております。

こうした中、本県は総務省の人口動態調査で過去5年間にわたり、外国人を含めた社会加数、増加率が全国上位で推移しており、東京都や大阪府などの大都市圏に次ぐ「社会増」が定着しつつあるものと考えております。

今後は、これまでの以上に「社会増」の拡大を重視し、生産性のさらなる向上を目指した戦略的な企業誘致、差別化・高付加価値化による儲かる農林水産業の実現、海外の活力を取り込むための企業の海外展開の支援、インバウンド誘客などを加速させてまいります。

また、風水害や大規模地震などの災害・危機に強い県づくりなど、県民の安心安全につながる生活基盤の充実に向けた対策を講じてまいります。

さらに、多様性を認め合い、誰もが活躍できる社会の実現を目指し、魅力ある教育への改革やダイバーシティを推進するとともに、優秀な外国人材の確保・育成や、外国人の方々も働きやすく、住みやすい生活・教育環境づくりに特に力を入れて取り組んでまいります。

県といたしましては、国内外から多くの人々を惹きつけることで、人口減少に打ち勝つ、「活力があり、県民が日本一幸せな県」を実現してまいります。

石津　大井川知事が就任されてから、さまざまな面で活力ある県づくりを進めていらっしゃることに、感謝と敬意を表します。特に産業振興では、新たな企業立地の増加、教育施設の充実、風水害や大規模地震に強い県土づくりなどを進めていただいていると、県建設業協会、また県建設産業団体連合会としましても、活力ある県づくりの一翼を今後も担っていけますよう、県の施策に積極的に協力させていただきたいと考えています。

―近年は自然災害が頻発しています。災害や危機に強い県づくりへ、河川や道路などインフラの強靭化に対する知事の思いはいかがでしょうか。

大井川　昨年は本県でも豪雨災害が発生し、今年に入っても能登半島において元日に震度7の大地震、9月に観測史上1位の豪雨が発生するなど、自然災害が頻発化・激甚化しております。

想定を超える災害はいつでも起こりうることを念頭に、先手先手の防災・減災対策を進め、災害への対応能力の向上を図ることが何より重要であると考えております。

このため、県では、「第2次茨城県総合計画」において「災害・危機に強い県づくり」の推進を掲げており、流域全体であらゆる関係者が働いて治水対策に取り組む流域治水や公共施設の耐震化、緊急輸送道路の整備など国の「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」の予算も有効に活用しながら、防災・減災対策を強化するための取り組みを進めております。

また、昨年9月の台風第13号では、県管理の河川や道路において護岸崩壊や土砂崩れなどの被害が11カ所で発生しましたが、これまでに95カ所で復旧工事が完了しており、残る箇所につきましても、今年度中に完了できるよう、工事を進めてまいります。

さらに、近年の甚大な洪水被害を受け、河道掘削など従来からの河川整備手法に加え、調節池や田んぼダムなど、浸水被害を軽減するため一時的に雨水をためる対策に、計画的かつ集中的に取り組んでおります。

石津　国や県の公共事業予算は、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」の実施などにより順調に確保されており、感謝申し上げます。

地域建設業は社会資本の整備や維持管理を行い、地域の安全・安心を確保する「地域の守り手」という社会的使命を担っています。災害発生時の応急復旧や、島インフルエンザなどの防疫活動にも協力しています。今後も、災害時の応急対策への即応体制を整え、円滑に災害対応をしてまいりたい。道路美化や不法投棄パトロールなども継続していきたい。

一方で、「地域の守り手」という役割を継続していくためには、健全な企業経営と安定的な受注の確保が前提となります。そのため社会資本整備の計画的な推進と、公共事業予算の持続的・安定的な確保・拡大、公共事業の円滑な推進等を、ぜひお願いしたいと思います。

私たちは、これからも「災害・危機に強い県土づくり」に貢献していきます。

茨城県コンクリート圧送事業協同組合

事務所　つくば市上広岡477－7　つくばコンクリート工事株式会社
電　話 029(857)6401　FAX 029(857)3835

小野瀬工業㈱　㈲鹿島伊藤博組
㈱常総　大谷建材㈱
つくばコンクリート工事㈱　㈲インング
㈱広木組　㈲松本商会
㈱阿久津工務店

茨城県交通安全施設業協同組合

理事長　小又　純
副理事長　上沢昌幸
副理事長　吉田賢司

㈱アイエスケイ　大泉産業㈱　㈱大昭鋼建
㈱アイ・ロード　鹿島栄興防災㈱　日動起業㈱
㈱アコオ　㈱協和　日立道路施設㈱
㈱アレスコ　㈲グローライズ　㈱マルミ
㈱茨交　五頭産業㈱　㈱水都交安
茨城道路㈱　㈱三建工業　㈱ヤマシン
茨城ライン㈱　正和産業㈱　ライナー建設㈱

〒311-4142 水戸市東赤塚2167番地4　電話029－254－4649
FAX029－254－4693

ふれあいの住まいづくり街づくり
一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

会長　河野正博　常務理事　軽部守彦
副会長　小室晶　常務理事　宮本久
副会長　根本洋一朗　常務理事　和田淳一
副会長　小川憲一　常務理事　上久保博隆
専務理事　永井一男　常務理事　相澤晴夫
常務理事　大山早嗣　常務理事　鎌田富士夫

外役員・会員一同

事務局　〒310－0852　水戸市笠原町978－30 建築会館２Ｆ
ＴＥＬ　０２９－３０５－７７７１
ＦＡＸ　０２９－３０５－７７９１

茨城県左官工業連合会

会長　豊田一雄
外会員一同

〒310－0851
水戸市千波町2830番地の5
ＴＥＬ 029－241－4057
ＦＡＸ 029－241－7071

－ 快適な生活を支える 砕石 －
茨城県砕石事業協同組合

理事長　長谷川大紋

㈲川西砕石　関東商工㈱　日鉱第一砕石㈱　丸山物産㈱
笠間砕石㈱　岡本興業㈱　㈱オーリス　総武石材鉱業㈱
新宿産業㈱　大泉砕石㈱　五月女鉱業㈱　東京石灰工業㈱
塚田陶管㈱

〒310－0852　水戸市笠原町９７８－２５
電　話 029(305)5035㈹
ＦＡＸ 029(305)5036
ＵＲＬ　http://www.mmjp.or.jp/ibaraki-csa/

一般社団法人
茨城県採石業協会

会長　林　千明
副会長　阿久津俊男
副会長　今田英夫

外会員一同

〒310－0021 水戸市南町2－6－37 木村ビル
TEL 029(303)2898　FAX 029(231)8359

茨城県石材業協同組合連合会

会長　長谷川正一
副会長　富田政男
副会長　林　清

桜川市友部1637
電　話　0296－75－5458
ＦＡＸ　0296－75－5313
https://www.ibarakiken.or.jp/isi/

J-Forest 茨城県森林組合連合会

代表理事会長　川野和彦

〒319－2205 茨城県常陸大宮市宮の郷2153－23
℡ 0294(70)3620　FAX 0294(76)1767

大子町森林組合　代表理事組合長　松浦宣章
つくばね森林組合　代表理事組合長　櫻井信
北茨城市森林組合　代表理事組合長　駒橋秋男
高萩市森林組合　代表理事組合長　鈴木幸男
城北森林組合　代表理事組合長　小山卓臣
笠間広域森林組合　代表理事組合長　盛田守
常陸大宮市森林組合　代表理事組合長　川野和彦
常陸太田市森林組合　代表理事組合長　白石甲子郎

安全で安心な社会をめざして
一般社団法人
茨城県消防設備協会

会長　入江元
副会長　柏井広一
副会長　大里初江

外会員一同

〒310－0063 水戸市五軒町１丁目４番１９号（茨城県酒造会館内）
電話 029(226)9611　FAX 029(226)9612
ホームページ　https://www.i-ssk.or.jp/　E-mail　i-ssk@i-ssk.or.jp

全国建設産業団体連合会
茨城県建設業協会

石津　健光 会長

地域の安心を守る

いしづ・たけみつ　1950年生まれ。神栖市出身。常総開発工業取締役会長。2018年から県建設業協会会長、茨城県建設産業団体連合会会長。茨城県アスファルト合材協会会長。24年6月には全国建産連会長に就任。大局的な視点で全国および地域の建設業界をリードする。

―地域間競争が激しくなる中、活力ある県づくりへ向けて、道路などのインフラの整備、住み続けたくなるまちづくりへの取り組みは。

大井川　人口減少が加速する中にあっても、産業・観光の振興や交流促進など、本県の活力をさらに高めていくためには、首都圏中央連絡自動車道の4車線化や東関東自動車道水戸線の整備促進、スマートインターチェンジの整備促進、茨城港および鹿島港の港湾機能強化のほか、高速道路インターチェンジや港湾などの地域拠点へ向かうアクセス道路の強化などに取り組み、陸・海・空の広域交通ネットワークの充実を図ることが重要であります。

特に、首都圏中央連絡自動車道の4車線化および東関東自動車道水戸線の整備については、いずれも2026年度までに全線開通する見込みが国土交通省から示され、事業の最盛期を迎えているほか、（仮称）鹿行南部道路については、今年6月に基本方針が策定されたところであり、引き続き国等に整備推進を働きかけてまいります。

また、県民生活の安心安全を支える生活道路など日常生活に密着したインフラ整備を進めていくことも重要であることから、生活道路や通学路の対策のほか、都市公園やサイクリング環境の整備などにも積極的に取り組んでまいります。

茨城県の発展に向けて、将来展望が語り合われた

石津　本県でも陸海空の広域交通ネットワークの充実・拡充が図られていることを大変心強く感じています。また、生活道路や通学路、河川、公園の整備などが進んでいることに感謝を申し上げます。

特に圏央道の4車線化や東関東自動車道水戸線の延伸によって、沿線開発、地域振興が進むことが期待されます。私たちも、地域の建設産業として積極的にこれらに参画し、活力ある県づくり、住み続けたいまちづくりに貢献してまいりたい。

新しい茨城づくり推進

―県内でも人手不足が深刻となっていますが、建設産業の担い手の確保に向けた県の取り組みは。

大井川　県では、建設産業の人手不足に対しまして、多くの方に選ばれる魅力ある産業となるよう、「給与」・「休暇」・「希望」・「かっこいい」の新4Kへの転換を図るため、「就労環境の改善」、「入職促進」、「生産性の向上」の取り組みを進めております。

まず、「就労環境の改善」としましては、就業者の処遇改善のため適正な予定価格の設定に努めるとともに、建設業における2024年問題を踏まえ、休暇の確保を促す週休2日制工事の実施や、適正な工期での発注、施工時期の平準化などにより、ワークライフバランスが確保され働きやすい就労環境への移行を進めているところであります。

次に、「入職促進」については、建設産業の関係団体と連携して進めており、建設会社におけるインターンシップの紹介や県発注工事の現場見学会や建設フェスタの開催など、次世代の担い手に建設業の魅力を伝える取り組みを進めております。

さらに、減少する担い手を確保していくため、知事就任以降、意欲と能力のある外国人材を積極的に受け入れていくことが不可欠と考え、ベトナム、インドネシア、モンゴル、最近ではインドとの関係強化に取り組んでいるところであります。

特に、専門工事業者の方々からは、即戦力となる外国人材を求める声もあることから、優秀な外国人材の確保・育成に全力で取り組むとともに、外国人材が働きやすく、住みやすい、世界から選ばれる県づくりを一層加速してまいります。

また、「生産性の向上」では、情報通信技術を活用し、より少ない人員・時間で工事を行うICTを積極的に活用することにより、効率的な施工手法への転換を進めております。

今後とも、これらの取り組みを建設産業の関係団体と連携することで、一層、維持・発展、推進してまいりたいと考えております。

石津　建設産業界では、魅力ある産業となるため、新たな3K（給与が良い、休暇が取れる、希望がある）に新たなK（かっこいい）を加えた4Kへの取り組みを進めています。これらは、発注者側のご理解とご指導もかかすことができないと思います。

そのため、適正な工期や予定価格の設定、週休2日制の導入促進、施工時期の平準化、ICTの活用、書類の簡素化・統一化、民間発注者団体や市町村等への働きかけ等をお願いしたいと思います。

また本年4月からは、建設業にも時間外労働の罰則付き上限規制が適用されました。4週8休など働き方改革を進める必要があります。これは、担い手の確保のためでもあります。専門工事業者や建設関連団体と連携しながら乗り越えてまいりたい。

―災害対応など建設業が地域社会で果たしている役割は大きなものがあります。知事が地域建設業に期待されることをお聞かせください。また石津会長が、このほど全国建設産業団体連合会の会長に就任されました。石津全国会長に期待されることは。

大井川　建設業は、地域のインフラ整備や維持管理のほか、災害時の復旧対応や家畜伝染病の防疫活動など、県民の安心・安全を支える重要な役割を担っています。昨年度も、豪雨災害時の復旧作業や鳥インフルエンザ発生時の防疫作業にご尽力いただき、深く感謝しております。とくに近年、自然災害が激化、頻発化していることから、優れた技術や知見を有し、本県の基盤を支える地域建設業の方々が地域におられることは、地域社会の安全・安心にとって大変心強く、県としては、その地域の守り手としての役割に、ますます期待するところであります。

こうした中、石津会長が、都道府県ごとの総合建設業団体、専門工事業者団体および建設関連業者団体等で構成される、全国建設産業団体連合会の会長に就任されました。石津会長には、持ち前のリーダーシップを存分に発揮され、現在、建設業界が抱える働き方改革や生産性向上などの課題の解決に向け、ご活躍いただけますことを強く期待しております。

石津　本年6月に全国建産連の会長を拝命いたしました。持続可能な地方建設産業界としていくため、公共事業予算の確保、活力を備えた魅力ある建設産業としての経営力強化などに取り組んでまいります。

また、これらのことを推進することが、大井川知事が掲げていらっしゃる「活力があり、県民が日本一幸せな県の実現」に直結すると思います。今後も県との連携を一層深め、「新しい茨城づくり」にチャレンジしてまいります。

私たちは、これからも茨城の発展と地域社会に貢献していきます。

茨城県造園業協同組合

理事長　永井　剛人
副理事長　井坂　秀夫
副理事長　砂押　一成
専務理事　稲見　洋二
外組合員一同

住所／水戸市白梅2-4-6　電話029-302-7900　FAX029-302-7901

一般社団法人
茨城県造園建設業協会

会長　水庭　博
副会長　永井　剛人　副会長　砂押　一成
副会長　鈴木　武士　副会長　森　久仁子
外会員一同

住所／水戸市白梅2-4-6　電話029-226-5691　FAX029-226-5692

一般社団法人
茨城県設備設計事務所協会

会長　菊地　繁　理事　那須　保
副会長　宮本　正之　理事　池端　道雄
副会長　黒澤　利勝　監事　菅原　和也
常務理事　池田　照雄　監事　前川　喜博
理事　須藤　義男　外会員一同

事務局　〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館２Ｆ
ＴＥＬ０２９－２４３－８８４４
ＦＡＸ０２９－２４３－８８４４
ＵＲＬ http://www.ibaraki-ssj.org

＝電気の安全確保をモットーに技術で社会に貢献＝
一般社団法人 **茨城県電設業協会**

会長　大堀　康之
副会長　和田本　聡
副会長　柏井　広一
副会長　大島　浩
外会員一同

水戸市笠原町1754－4
ＴＥＬ　029(305)7301
ＦＡＸ　029(243)1523

茨城県電気工事業工業組合

理事長　浅野　晃司
副理事長　文道　敏雄　副理事長　石川　重信
専務理事　浅野　和郎　常務理事　笠倉　勉
常務理事　佐藤　正則　常務理事　秋山　啓市

〒310-0045　水戸市新原１丁目２番７号
TEL 029-252-3133　FAX 029-252-3134
Ｅメールアドレス：ibaden@ibaraki-denkouso.com
ホームページアドレス：http://www.ibaraki-denkouso.com

建築鉄骨は国交省認定工場へ
茨城県鐵構工業協同組合

理事長　安達　次雄
副理事長　石山　龍也　副理事長　塩谷　剛之
外組合員一同

事務局　水戸市笠原町600-35 明豊ビル内　ＴＥＬ (029)305-2202㈹　ＦＡＸ (029)243-2444
URL https://i-tekko.jp/　E-mail info@i-tekko.jp

住んでよし　心ゆたかな　木の住まい
茨城県木材協同組合連合会

会長　野上　満正
副会長　皆川　正一　副会長　酒井　宗衛
副会長　川井　顯一　副会長　浅川　清司
副会長　鉾田　樹一

〒319−2205　茨城県常陸大宮市宮の郷2153−38
ＴＥＬ　0294(33)5121　ＦＡＸ　0294(33)5191

茨城県防水工事業連合会

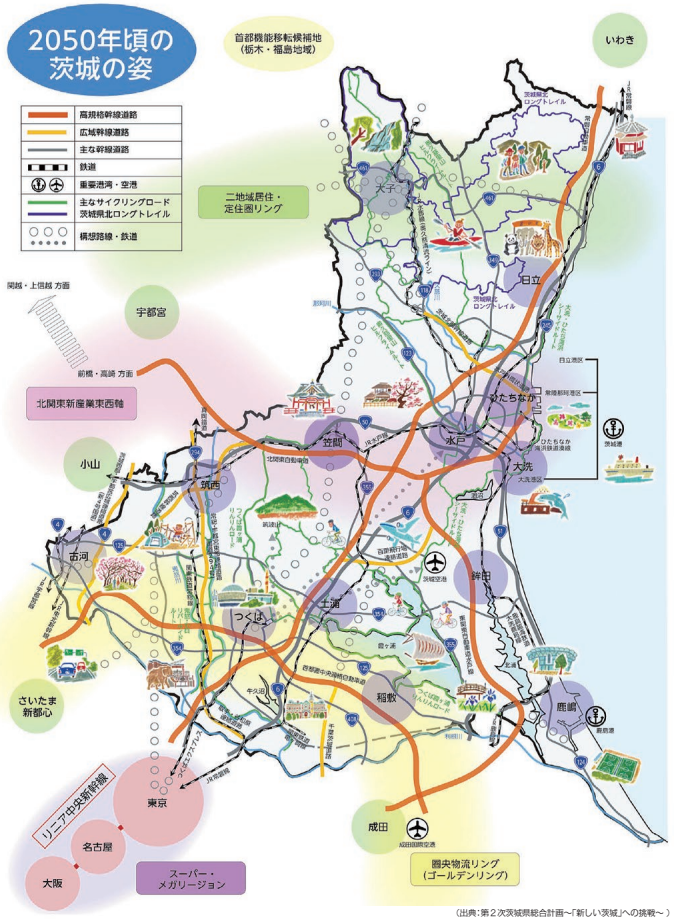
会長　神原　陽一〔㈲神原防水工業〕　理事　中山　修一〔㈱星斗防水工業〕
副会長　植田　佳男〔植田防水工業㈱〕　理事　吉葉　隆弘〔㈱ツクバ防水〕
副会長　益子公一郎〔㈲益子樹脂興業〕　理事　田仲　邦彦〔㈱奈良屋〕
副会長　山崎晋一郎〔㈱山忠〕　理事　檜山伸太郎〔桧山化研㈱〕
理事　平野　直樹〔㈱アコオ〕　理事　柳澤　秀昭〔柳澤工業㈱〕
理事　稲田　篤〔㈲稲田防水工業〕　理事　吉田　正〔㈱ヨシダ〕
理事　菊池　大樹〔㈲菊池防水工業〕　監事　安島　弘一〔㈱アジマ防水〕
理事　飯野　晃一〔㈱ＫＩ防水〕　監事　吉住　篤重〔㈱鹿島美装〕
茨城ライン㈱　常磐塗装㈱　中山技研㈱　マルヨシ技建工業㈱
いわきレジン㈱　㈱昌和　日立建塗工業㈱　㈱ミズヨケ
㈲大宮防水工業　㈱鈴木防水工業　㈲ヒロレキ　㈱矢口
小野防水㈱　㈲創美社　富士共和工業㈱　ユタカ工業㈱
㈱菊正塗装店　㈱大栄工業　㈱富士塗装店
㈱技建工業　㈱タケイ・アーツ　㈱マスダ塗装店
㈲小松崎防水　㈱塚本建装　㈱丸川技研工業

事務局　〒306−0234 古河市上辺見1−2664
㈲神原防水工業内　TEL 0280-31-3333 FAX 0280-31-3335

茨城県塗装工業組合

理事長　増田勝人　副理事長　齊藤佳昭
副理事長　貝賀　睦　副理事長　岡野　勉
副理事長　塚本哲生　副理事長　萩原敏明

〒310−0851 茨城県水戸市千波町１８５３−１
ＴＥＬ０２９(２４４)３５８１
ＦＡＸ０２９(２４３)６６８１



（出典：第２次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～）

日本工業経済新聞社 水戸支局 開設70周年

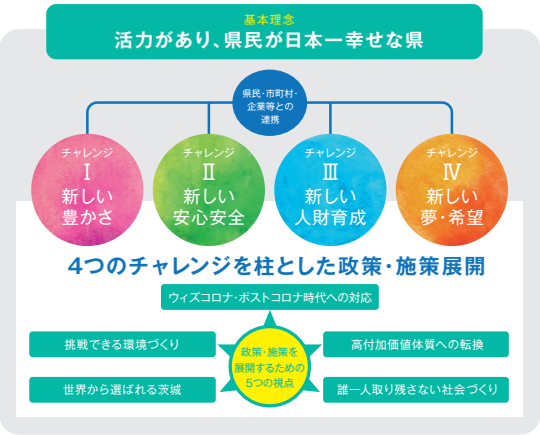
茨城県　第２次総合計画を推進

活力があり、県民が日本一幸せな県へ

茨城県では大井川和彦知事のもと、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に取り組むため、県政運営の基本方針となる「第2次茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」を策定し、取り組んでいる。

第2次総合計画では、変化や失敗を恐れず新しいことに積極果敢に挑戦し、「新しい茨城」づくりに向け、「豊かさ」「安心安全」「人財育成」「夢・希望」の4つのチャレンジを常に進化・加速させていく。また、これまで抽象的な概念に留まっていた「幸せ」について、新たに導入する「いばらき幸福度指標」により「見える化」し、政策の方向性を把握・検討することで、県民幸福度No.1の実現に挑戦している。

日本工業経済新聞社水戸支局は、今後も「新しいいばらきづくり」に寄与していきます。



視点：「挑戦できる環境づくり」
県民誰もが、自身のかなえたい夢に向かって果敢に挑戦できる環境をつくります。

視点：「高付加価値体質への転換」
本県のポテンシャルや地域資源を再発見し、磨き上げることで、更に価値を高め、「儲かる」仕組みをつくります。

視点：「世界から選ばれる茨城」
グローバル社会が進展する中でも、世界から選ばれるように、あらゆる分野で本県の存在感を高めていきます。

視点：「誰一人取り残さない社会づくり」
性別・国籍・家庭環境等に関わらず誰もがいきいきと暮らせる社会を築きます。

視点：「ウィズコロナ・ポストコロナ時代への対応」
新型コロナウイルス感染症によって変化したライフスタイルや価値観に対応した施策を推進します。

（出典：第２次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～ IBARAKI NEXT CHALLENGE ）

私たちは、これからも「新しい茨城づくり」に貢献していきます。

～みどりの新時代をリードします～
公益社団法人
茨城県森林・林業協会
理事長　石井邦一
副理事長　川野和彦　副理事長　豊田　稔
副理事長　野上満正　副理事長　栗田晴二
〒310－0022　水戸市梅香1－5－5　JA会館分館2F
○森林・林業部（林業労働力確保支援センター、市町村森林管理サポートセンター）
TEL：029-225-5949　FAX：029-225-6847
○緑化部（緑の募金、森林づくりサポートセンター）
TEL：029-303-2828　FAX：029-225-6847
○治山林道部（森林土木事業の調査、測量、設計、コンサル）
TEL：029-225-7280　FAX：029-225-6847

茨城県林業土木事業協同組合
理事長　石津健光
副理事長　大藤博文
副理事長　樫村　守
専務理事　神長輝夫
外組合員一同
〒310－0022
水戸市梅香１丁目５番５号　電話029(225)3143

茨城県木材市場協同組合
理事長　打越芳男
㈱茨城木材相互市場　代表取締役社長　大谷知行
㈱ミトモク　代表取締役　安藤裕一
〒310－0826　茨城県水戸市渋井町50
TEL　029－221－3111　FAX　029－221－3393

一般財団法人
茨城県建設技術管理センター
ISO17025認定試験所
理事長　石津健光
役・職員一同
本　所　〒310－0004　水戸市青柳町4195
TEL 029（227）5634　FAX 029（227）8558
県南支所　〒300－0331　稲敷郡阿見町阿見4815－3
TEL 029（887）5762　FAX 029（887）5769

公益社団法人
茨城県測量・建設コンサルタント協会
会長　伊藤吉正
外会員一同
水戸市谷津町1－23 水戸西流通センター内
TEL　029－254－8200
FAX　029－254－8180

浄化槽できれいな水を自然に返そう
茨城県知事指定浄化槽検査機関
公益社団法人
茨城県水質保全協会
理事長　成田浩明
副理事長　犬塚行治
〃　繁藤洋一
〒310－0845　水戸市吉沢町650－1
TEL 029－291－4000　FAX 029－304－5005
URL https://www.e-mizu-ibaraki.jp/

公益財団法人
茨城県開発公社
理事長　飯塚博之
<〒310-0852>水戸市笠原町978番25 TEL (029) 301-7000 FAX (029) 301-7010
https://www.dc-ibaraki.or.jp/ TEL (029) 301-7003（会議室予約）
鵜の岬　茨城県日立市十王町伊師640　☎(0294)39-2202代
鵜来の湯　茨城県日立市十王町伊師605　☎(0294)39-1126代
いこいの村涸沼　茨城県鉾田市箕輪3604　☎(0291)37-1171代
茨城空港 IBARAKI AIRPORT　旅客ターミナルビル　茨城県小美玉市与沢1601-55　☎(0299)37-2800

一般財団法人
茨城県建築センター
会長　柴　和伸
理事長（センター長）　小沼紀男
常務理事　足立信幸
〔本部事務所〕〒310－0852　水戸市笠原町978－30
TEL　029－305－7300代　FAX　029－305－7310
〔県南事務所〕〒300－2655　つくば市島名2920（万博公園西F28街区6）
TEL　029－886－3211代　FAX　029－886－3212
〔県西事務所〕〒306－0125　古河市仁連1921－4
TEL　0280－75－2600代　FAX　0280－75－2603
ホームページアドレス　https://www.ibakenju.or.jp/

土木構造物・建築物・上下水道の設計、積算、施工管理
一般財団法人
茨城県建設技術公社
理事長　生田目好美
専務理事　皆川桂一
常務理事　梅澤信行
職員一同
〒310－0852　水戸市笠原町978－25
茨城県開発公社ビル６Ｆ
TEL　029－301－6600